

## 令和元年度第1回総合教育会議 議事録

1. 開会日時 令和元年5月23日(木) 16時～17時12分
2. 会議場 松浦市役所 4階 第4委員会室
3. 出席者
  - 松浦市長 友田吉泰
  - 松浦市教育委員会教育長 今西誠司
  - 〃 教育委員 島田茂明、平原章宏、金井田秀規、氏山智美
  - [事務局] 学校教育課 宮島哲郎
  - 教育総務課 石黒修子、反田隆二
  - 生涯学習課 近藤寿一
  - 文化財課 内野義
4. 内容
  - (1) 市長挨拶
  - (2) 教育長挨拶
  - (3) 総合教育会議について
  - (4) 協議
    - 「子ども議会」について
5. 傍聴人 無
6. 発言の詳細 以下のとおり(要点記録)

【発言者】	【内 容】
教育総務課長	ただ今から令和元年度第1回松浦市総合教育会議を開催いたします。はじめに、友田市長がご挨拶申し上げます。
市長	<p>本日は令和元年度第1回総合教育会議のご案内をいたしましたところ、委員の皆様方にはお集まりいただきましてありがとうございます。</p> <p>今、市内では、10年後の松浦市の未来を考える「未来会議」を開催しています。昨年度4回、市民から無作為に抽出して選ばれた委員と、公募で自ら参加していただいた委員と延320人の市民に参加をしていただいた。委員の中には未来の松浦を担う高校生も参加し議論をいたしました。この31年度は小学校区単位で開催をいたしておりまして、既に、鷹島、福島、調川が終わったところであります。本日も星鹿で夕方6時半から開催する予定です。これから未来を考えるうえで、地域のみなさんといろいろな取組を考えていこうとやっているわけですが、2時間半、和気あいあいと色々なことを語っていただきます。ほんとにこういう形でまちづくりをやっていけば将来いろんな課題があっても解決していけるのではないかと思っております。この総合教育会議もそれぞれのお立場の委員のみなさま方に参加をいただいて、これからの松浦の未来を担う子どもたちの教育を中心にご意見をいただいているわけでありまして、皆様方のご意見がこれからのまちづくりに繋がっているということに感謝申し上げます。</p> <p>今日は子ども議会についてご協議いただきたいと思っております。昨年度は、中学生による子ども議会を開催いたしました。その後の取組状況をお知らせするとともに、今年度は7月に小学生のこども議会を開催</p>

教育総務課長	<p>する予定にしております。このことについても、みなさん方のご意見をいただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p> <p>続きまして、今西教育長にご挨拶をお願いします。</p>
教育長	<p>教育委員を代表しまして、一言ご挨拶申し上げます。本日は、令和元年度、第1回目の総合教育会議ということで、こうして友田市長との協議の場を設けていただき、誠にありがとうございます。</p> <p>また、日頃より教育関係の施策にご理解とご支援を賜り、感謝申しあげます。特に、昨年度から毎月19日の食育の日には、児童と会食しながらいろいろなお話をさせていただき子ども達も喜んでいきます。また、市長さんのことを身近に感じたのではないかと思います。</p> <p>総合教育会議も、5年目を迎えました。毎回、「教育のまち 松浦」に繋がる有意義な協議をさせて頂き、有り難く思っております。</p> <p>今回は、子ども議会を議題にあげて頂いています。</p> <p>現在、「ふるさと学習」の重要性が叫ばれていますが、これは、ふるさとへの愛着と誇りを持ち、ふるさとの将来を担おうとする態度を育成するためのものであり、子ども達が松浦の現状をもとに提案したり質問をする「子ども議会」は、ふるさと学習そのものと言えます。</p> <p>このことについて、有意義な意見交換ができればと思っています。</p> <p>結びになりますが、教育は人づくりとまちづくりの根幹と考えます。友田市長におかれましては、今後も引き続き、教育行政推進に対するご尽力をお願い申し上げます。</p>
教育総務課長	<p>ありがとうございました。それでは、これから協議に移らせていただきますが、議事進行につきましては、松浦市総合教育会議運営要綱第5条の規定により、友田市長が行います。よろしくお願いいたします。</p>
市長	<p>規定により、私の方で、議事進行を務めさせていただきます。</p> <p>それでは、早速、議題の「子ども議会について」協議に入ります。</p> <p>この件につきましては、昨年11月の「平成30年度第2回総合教育会議」において、子どもたちの提言を受けて、私の思いを述べさせていただきましたが、今回は、提言を受けて、担当課の対応の状況をお伝えしたいと思います。配布しております資料の説明を学校教育課長お願いします。</p>
学校教育課長	<p>各課の対応状況をお示ししておりますが、私の方からかいつまんで説明いたします。御厨中学校の方で、政策企画課への質問ですが、「閉校した小学校の敷地や建物を今後どのように活用していこうと考えているのか。」という部分で、田代小学校跡地については、平成31年度中に校舎を西九州自動車道の整備に伴う（一社）まつうら党交流公社の事務所移転先として活用予定。グラウンドを体験型旅行の大型バス駐車場などに活用予定となっております。大崎小学校については、民間団体が障害者職業訓練施設と就労施設として活用予定だったが、国の助成金が不採択となったため断念しましたが、今後は地元の意</p>

見を聴きながら新たな活用策を検討していくとしております。それから、総務課の「御厨町のインターネット環境の整備は今後どのようになっているのか。」という部分では、平成31年度に工事に着手され、32年4月から光サービスを開始する予定で進められています。それから、青島中学校の健康ほけん課の分で「現在、常駐する医師がいなく、不安であるので青島に住んでもらえるお医者さんを探してほしい。」という質問に対しては、令和元年6月1日より常駐医師が火曜日から金曜日午後の診療を行っています。医師は、青島の医師住宅に住んでいただいています。また、金曜日の午後については、青州会病院の医師が診療を行います。次に、志佐中学校の都市計画課への質問ですが、「志佐中央公園の再整備計画について教えて欲しい。」という問いに対し、松浦中央公園の再整備については、市民皆様の意見を設計に反映させるため、1月と2月にワークショップを開催しています。現在は、ワークショップで頂いた意見を基に最終計画案を策定しており、5月末までに実施設計を終える予定です。その後、改修工事に着手し、11月頃の工事完了を目指しています。それから、調川中学校の「アジフライの聖地など松浦市で地域おこしとして取り組んでいることを教えて欲しい。」という地域経済活性化課への質問ですが、コンビニエンスストアのレジ横での松浦アジフライの販売については、現在、ローソンで販売しており、ファミリーマートでも本年5月から7月までの期間限定で販売される予定。今後も、期間限定での販売はされる見通しと聞いている。セブンイレブンでは、現在、松浦アジフライの入った弁当を販売されている。また、ジョイフル松浦店限定で、3月26日から「松浦アジフライ」の定食を提供することになっています。また、「旬サバの缶詰のラベルのデザインを変えることで認知が増えるのではないだろうか。」という質問では、旬さば缶を製造販売している「まつうら観光物産協会」に確認をした。缶を宝石箱風にすることについては、製造に係るコストが高くなると当然販売価格も高くなるので、非常に難しいということである。また、パッケージや箱は小ロットで発注すると割高になることから、あと2年から3年分の在庫があるため、次回発注する時にQRコードを含めて検討したいとのこと。それから、今福中学校の「新野球場の活用等について教えて欲しい。」という質問には、生涯学習課が答えているのですが、昨年12月1日の一般供用開始以降、現在では毎週土、日はほぼ使用で埋まっている。市外からも高校、大学が練習、合宿に利用している。地元のスーパー、コンビニ等が利用されており、質問の趣旨の「今福の活性化」に貢献していると思う。次に、福島中学校ですが、「棚田やその周辺の整備計画・福島町公園化計画について教えて欲しい。」と、福島支所への質問ですが、大山公園展望塔からの眺めの邪魔になっていた雑木を伐採した。3月下旬から4月上旬の桜のシーズンにライトアップを実施する。また、サイクリングコースやトレッキングコースについては、現地確認を行うなど現在検討中です。それから、政策企画課への「議会で議決した内容の進捗状況をウェブページ等で発信できないだろうか。」という問いに対しては、松浦市のホームページをリニューアルしその中で対応していきたい、としており

	<p>ます。最後に、鷹島中学校の「特産物のPR活動について教えて欲しい。」という、地域経済活性化課への質問ですが、アジフライの聖地に向けたPRと同時に特産品のPRもおこなっているところで、これまでは、県外のテレビ局に取り上げられることは殆どなかったが、現在は、長崎県、佐賀県、福岡県の全テレビ局で松浦市を取り上げてもらっているほか、TBS、日本テレビなど全国放送でも取り上げてもらい、松浦市を全国にPRしています。</p>
市長	<p>昨年度の中学生による子ども議会への進捗状況ということで説明があったところですが、委員の皆様からお話をいただきたいと思いません。</p>
金井田委員	<p>教育委員会4課に対し、質問が出てないのが残念ですね。</p>
市長	<p>青島については、子どもたちの思いを地域の皆さんも真摯にとりあげて、医師の確保にも繋がっている。子どもたちが切実に思っている事が具現化された例であると思っています。</p>
氏山委員	<p>うちの子は、生徒会で夏休みのころから「こども議会」に関わって、ほんものの議場でやれることすごい取組だと思う。今後も続けて欲しい。</p>
市長	<p>未来会議に高校生が入って、率直な意見を言ってくれるのは有意義だと思っています。子どもだからこそ言える視点だと思う。学校現場との協議をしながら、できるだけ続けていきたい。総合学習で勉強する機会があったとしても、地域全体のことを知らないまま高校生になって、外に出ていくと、自分のふるさとはどういうまちで、どういう課題があって、自分はどのような役割を果たせるということを感じにくいのではないかと思います。地域の課題についても考えてくれるんじゃないかと思います。それを期待して松浦高校の「まつナビ」も行っている訳ですが、これを、小中学校の議会での体験を高校にも繋いでいけると良いなと思っています。</p>
教育長	<p>子ども議会に関しては、子どもたちが、何ができるかを自分の頭で考えて、それを議場で発表する。調川中学校の子どもたちの発表に対する反響は、子どもたちも驚いていた。自分たちの考えが注目されて、大きな刺激になった。</p>
平原委員	<p>未来会議にも参加して感じたことは、子どもたちは、柔軟性のある考えをポッと出せる。世代間を超えて、ああいう会議を持っていたけると、私たちの考えも少し柔軟になっていくように感じる。今回の進捗状況を市報などで見られたらいいなと思う。</p>
島田委員	<p>子ども議会の意義は、非常に大きなものがあると思う。子どもたちが議場で堂々と発言している。それまでの準備も大事だが、学習して</p>

	<p>いないとできない。新しい提言までできている。素晴らしいと思う。「住み続けたいを実感できるまち」に繋がっていると思う。</p>
市長	<p>学校現場でのカリキュラムがあって、その中で子ども議会への対応は、どうやっているんですか。総合学習の中ですか。</p>
学校教育課長	<p>昨年度の場合は、提案が4月になったので、カリキュラムの調整が必要でしたが、年度の前に計画が出来れば、年度のカリキュラムに組み込むことができると思う。今後の子ども議会については、7月29日の子ども議会が終わった後に校長会に諮って来年度以降の計画をたてたい。</p>
金井田委員	<p>前回市議会でも取り上げられましたが、サッカー場の整備などを市長がどう考えておられるのか。また、陸上競技場の整備についてもお尋ねしたいのですが。</p>
市長	<p>サッカー場の整備については、現時点では難しいと思っている。今福の野球場の整備もしましたが、もっともっと使って欲しいと思っている。陸上競技場の問題は、400メートルトラックがないものですから、どうせ作るなら全天候型じゃないと意味が無いと言われ、今の松浦市にその余裕は無いと思っている。当面は佐世保市の設備を利用したいと思っている。佐世保市を中心に広域都市圏での相互利用を提携してやっていこうとしているので、地元でさせてやりたいという思いはあるが、現状では難しい。</p>
教育長	<p>サッカーをやりたいという子をどうしたらよいかという話になりますが、子どもたちが減っていく中で、やりたい部活をやらせるためには、中学校の統合も考えていかなければならなくなっている。</p>
市長	<p>自前で持たずに相互利用を考えていかざるを得ない。人口減少に伴って制限が出てくる。広域都市圏構想というのは、まさにそのとおりで、西九州自動車道等のインフラ整備を利用して、施設の相互利用を図りたい。福島、鷹島の小中学校にしても、グラウンドや体育館は、小中学校の共同利用ですよ。人口減少は切実な問題です。人口問題研究所に基づいて、総務省が2040年問題をいっているんですが、団塊の世代の方は、240万人生まれておられるんですよ。ジュニアの子どもたちは、その半分くらいしかいない。2017年の出生者は、95万人ですよ。生産年齢人口が減っているから女性も働かないといけない。そうすると、こどもの数が減ってしまう。松浦市は第2子の保育料を無料にしたり、給食費を無料にしたりしていますが、それでも出生数は伸びない。年間150人くらいです。そういう状況ですので、そこに備えていくという考えを持たなければいけない。せっかく松浦市に生まれた子供たちにどう松浦のことを知ってもらって、まちづくりに参加してもらおうかということが大事ですし、社会も5Gなんて時代がきたら、テレワークがあたりまえの時代がくると思うんです</p>

氏山委員	よ。 未来会議の地域版の参加人数が分かりますか。
市長	鷹島地区は30人、福島地区は16人、調川は25人でした。具体的な呼びかけが足りなかったというのを反省しています。未来会議は、プロの進行役の方が素晴らしかったと思います。会議の仕方から教わりました。「この1週間楽しかったことから話してみてください。」ということから話して、本題に入るいわゆる「ワールドカフェ方式」で意見を交わしたのですが、いろんな意見をいただきました。これからの行政の会議の在り方は、この方法が良いなと思いました。先進地では、市政懇談会の場で、中高生が提案することがあるらしいので、ぜひ、そういうふうになっていけたらと思っています。
島田委員	福島の16人という数字は申し訳ない。内訳はどうだったんでしょうか。
市長	半分は職員でした。鷹島も同様です。ぜひ、この人には参加いただきたいと思う人の事前のアプローチが足らなかったと思います。
島田委員	いろんな立場の人からの意見がいただけるようにできたら良かったですね。
市長	昨年度開催した未来会議は無作為に年代別、地域別に参加を要請して、老若男女自主的に参加していただいた。こんな会議は今まで経験したことないような幅広い年齢層の方にご参加いただいた。他に、委員の皆様から質問等ございませんか。それでは、協議についてはここまでにしたいと思います。続きまして、「その他」に移らせていただきますが、皆様から何かございませんか。事務局からありますか。
平原委員	前回の定例教育委員会の中でも話題になったと思いますが、メディアで松浦市が放送されることもあるのですが、事前に市民にもお示しいただきたいと思っています。
市長	そのへん防災無線で周知ができないか検討したいと思います。アジフライの聖地についても、まだまだPRしていきたいのでお知らせしていきたいと思っています。それでは、時間になりましたので、子供たちの意見がまちをつくっていくとっておりますので、こども議会は、松浦のことを真剣に考えていく良い機会になっていると思いますので、ぜひ子ども議会は続けていきたいとっております。  「その他」に移らせていただきます。

教育総務課長	総合教育会議は、年3回、開催することにしておりますので、次回は11月か12月に開催をお願いしたいと思っております。
市長	他になければ、以上をもって、令和元年度第1回総合教育会議を閉じさせていただきます。お疲れさまでございました。